

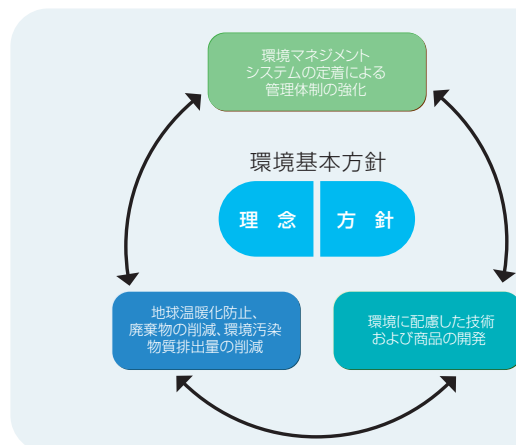
経営理念

創造と前進を旨とし、価値ある商品によって社会に貢献し、社業の永続的発展・成長を期す

環境基本方針

当社は1993年に環境に関するボランティアプラン「環境保全行動計画」を策定し、これに沿って環境保全活動に取り組んでまいりましたが、2001年4月にこれを改訂し、理念・方針からなる「環境基本方針」と「環境行動計画」を新たに策定いたしました。

この環境行動計画は、環境基本方針に則って、具体的に定められております。



三井金属 環境行動計画（抜粋）

2001年4月1日
三井金属鉱業（株）

環境基本方針に基づく本社および各所社「以下各事業所という」の行動計画を以下のとおり定める。

1. 環境管理体制の整備

本社および各事業所においては、事業形態、規模に応じた体制の整備、拡充に努める。

- (1) 責任者の明確化
- (2) 環境マネジメントシステムの導入
- (3) 環境監査の実施

2. 環境負荷低減

(1) 地球温暖化防止

各事業形態に応じたエネルギー原単位（原油換算エネルギー使用量／売上高）の削減目標を設定し、エネルギーの使用削減に努めることにより炭酸ガスの排出を抑制する。

形態別目標値ガイドライン（2000年度を基準として2010年度末までに）

製錬業、素材産業5%以上（製錬所、バーライト、メサライト）

その他製造業10%以上

(2) 廃棄物の減量化

廃棄物原単位（リユース、リサイクルされる廃棄物を除いた廃棄物発生量／売上高）の削減目標値（重量）を設定し、廃棄物の発生抑制に努める。

目標値ガイドライン（2000年度を基準として2010年度末までに）50%以上

(3) 環境汚染物質の排出量削減

3. 環境に配慮した技術、材料および製品の開発

4. 緊急時対応

5. 教育・広報・社会活動等

- (1) 教育、啓蒙
- (2) 環境報告書の発行
- (3) 地域社会との共生

6. 適用所社

この環境行動計画は、三井金属グループの直轄事業所および国内外の特定関係会社に適用する。

7. 適用期間

2001年4月1日より改訂までの期間

以上

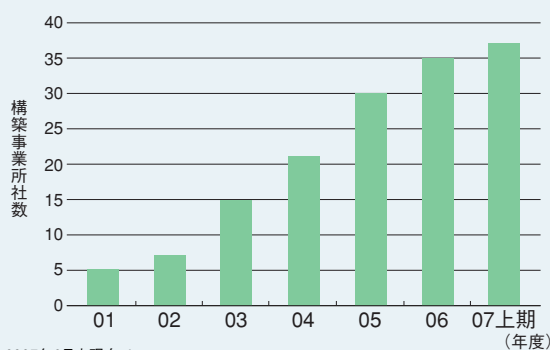
環境マネジメントシステムの構築

当社では、環境負荷を継続的に低減するための仕組みとして、ISO14001環境マネジメントシステムを、環境行動計画に基づいて2006年度末までに三井金属グループ全所社で構築することとしておりました。

これまでに予定した37所社の全所社が構築完了いたしました。

今後は、環境マネジメントシステムの定着による管理体制の強化に向けて努力してまいります。

ISO14001構築所社数推移（含む準拠）



2007年8月末現在で

吉野川電線（株）、韮崎事業所、（株）大井製作所本牧工場、神岡部品工業（株）、（株）大井製作所九州工場、（株）大井製作所石川工場、（株）エム・シー・エス、三井串木野鉱山（株）、神岡鉱業（株）、パウダーテック（株）、圧延加工（事）、日比・玉野製錬所、三井金属九州機工（株）、薄膜材料（事）、三井金属商事（株）、バーライト（事）、計測システム（事）、愛知計装（株）、触媒（事）、セラミックス（事）、三池製錬（株）、総合研究所、MESCO、特殊銅箔（事）、日本メサライト工業（株）、竹原製錬所、三池レアメタル工場、日本イトリウム（株）、彦島製錬（株）、三井研削砥石（株）、日本結晶光学（株）、八戸製錬（株）、（株）MTR、九州精密機器（株）、奥会津地熱（株）、MINDECO（本社）、MINDECO石見鉱業所の37所社が構築完了済